

平成 27 年度 外国人観光客受入体制強化事業
「テレビを活用したインバウンド受入啓発」
企画公募型コンペ仕様書

平成 2 7 年 6 月

1. 総則

1.1 業務の件名

「テレビを活用したインバウンド受入啓発」（以下「本業務」という）とする。

1.2 仕様書の目的

本仕様書は、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下「OCVB」という）が受託事業者に委託する本業務に関する仕様を示すものとする。

2. 業務概要

2.1 業務の背景

近年日本国内において、縮小傾向である国内客市場に対して新たな活路として外国人観光客受入（インバウンド）が推進されている。沖縄県においても、外国人入域観光客数は顕著な伸びを見せており、平成26年度は98万6,000人と過去最高を記録した。今後もますます増加することが予想され、世界水準の観光地形成に向けた県民のホスピタリティ向上が求められている。より多くの県民が異文化や多様性を寛容に受け入れる能力を高められるように、県民に向けた受入啓発プロモーション活動が必要である。

2.2 業務の目的

沖縄観光の海外におけるプロモーション推進と並行し、県民が文化や習慣の違いを乗り越え、増え続ける外国人観光客を温かく迎え入れ、「世界水準の観光リゾート地」形成に向け主体的に取り組んでいくよう気運を高めることを目的とする。

2.3 業務の概要

- (1) 沖縄県内テレビ局の企画・制作力を十分に活用した県民向けインバウンド受入啓発プロモーション企画実施
- (2) 上記(1)における目標設定と効果測定（例：視聴者アンケート等視聴率以外での測定方法）

2.4 業務委託の範囲

本仕様書が規定する業務委託の範囲は次のとおりとする。

- (1) 業務目的や実施期間を考慮した県民向け啓発の企画実施。
- (2) 業務目的に対する目標設定と効果測定
- (3) 委託業務全体を統括する担当者の配置
- (4) 業務完了報告書の作成

※実施内容や事業効果とともに、業務の分析・報告を取りまとめること。

※業務にかかった費用内訳およびその支払を証明する証憑書類（見積書、納品書、請求書、領収書、根拠資料等）のコピーを提出すること

例）・外注先企業等からの請求書

・外注先企業等への支払証明書 など

- (5) その他、業務実施にあたり OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務。

2.5 成果物等一覧

受託事業者が提出すべき成果物等は表 1 のとおりとする。

表 1 成果物等一覧

項 目	内 容
放映確認書	本業務で放映した番組の放映確認書
素材データ	本業務で使用した映像素材（HD カムなど）
業務完了報告書	本業務の効果を検証した報告書
その他	業務に伴い作成した成果物（各 5 点）

2.6 スケジュール

受託事業者は平成 28 年 2 月 26 日（金）までに受託内容の実施を行い、平成 28 年 3 月 9 日（水）までに業務完了報告を行うこと。

2.7 事業予算

本業務委託に係る予算は、9,000,000 円以内（税込み）

2.8 瑕疵担保責任

OCVB への引き渡し日から起算して 1 年の間、成果物に瑕疵があるときは、受託事業者は無償で当該成果品の修補を行うこと。

2.9 著作権・特許等

- (1) 受託事業者は、原則として本業務で作成された成果物に関し、すべての著作権（財産権）を、OCVB に無償で譲渡するものとする。ただし、委託前から受託事業者の構成者が権利を有する著作物及び第三者が権利を有する著作物を利用する場合は事前に OCVB の承諾を得

るものとする。

- (2) 受託事業者は、OCVB の同意を得なければ、著作権法第 18 条及び第 20 条に規定されている権利を行使することができない。
- (3) 本業務の成果物の使用期限は事業終了からおおむね 1 年は設けるものとする。
- (4) 本業務の成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については訴訟費用を含めすべて受託事業者において責任を負うものとする。
- (5) 上記条件を満たすのに費用が過大となり、十分な広報展開ができないことが見込まれる場合においては、協議するものとする。

3. 要求仕様

3.1 概要

本業務においては、キャッチコピーを「ウェルカムんちゅになろう」、主に使用される楽曲は「いちやりば結」と定めており、これらを踏まえたプロモーションを実施する。また、来県する外国人観光客の増加を知らせるだけでなく、県民が異文化への理解を深め、「世界水準の観光リゾート地形成」について新しい視点を得る内容とする。

- (1) 沖縄県内テレビ局の企画・制作力を十分に活用した県民向けインバウンド受入啓発プロモーション企画実施
- (2) 上記 (1) における目標設定と効果測定（例えば、視聴者アンケート等視聴率以外での測定方法）

3.2 内容

本仕様書が規定する企画提案内容は以下の通りとする。

- (1) 次年度以降の県民向け受入啓発プロモーションにおいても発展と継続的な効果が見込める企画内容。
- (2) 企画提案の根拠となる企画背景（マーケティング資料等）
- (3) 本業務の目的と誘客期間を考慮し下記の内容をふまえたメディア広報企画の提案
 - ア. ターゲット設定を含め提案し、県民各層に向けて広範囲へ周知を図る。
 - イ. メディア露出期間は、少なくとも 3 ヶ月以上にわたり恒常的に行うこと。
 - ウ. 見込める効果とその根拠を明確に説明すること。
 - エ. 映像は一過性のものではなく、WEB 上で再活用できる成果物の制作を行い、恒常的に県民へ響く手法をとること。
 - オ. 採択決定後確実に実施出来る企画とすること。
- (4) 本業務を通して、具体的にどれだけのインバウンド受入気運を高めることができたのかを示す、事業効果測定の手法及び報告方法

(5) プロジェクトスケジュール

(6) スケジュールや実施内容を加味した企画実施体制

※提案企画の中でOCVBが行なう業務がある場合は、企画書に明確に明記すること。

3.3 注意事項

提案内容については、以下の点に留意すること。

- ・ 契約候補者として選定された場合においても、提案のあった企画の内容をすべて実施することを保証するものではない。
- ・ 掲載内容の情報については、契約事業社が責任を持って文字校正（情報内容の確認）を行い、必要に応じてOCVBも校正を行う。
- ・ 本業務にて作成する成果物については、二次使用が可能なこととする。（データについては電子納品をし、OCVBウェブサイト「ウェルカムんちゅになろう」への掲載およびOCVBが認める他の媒体での使用が可能であるもの）
- ・ 本仕様書に記載の業務内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の契約の仕様書とは異なる場合がある。
- ・ 本仕様書記載の業務内容については、実施段階において、予算や諸事情によって変更することがある。

以上